

実行委員会ニュース

NO.1



第一回実行委員会 大きく成功す

京大に働き、学ぶ、学生、院生、教職員の、生協、知進会労働者の皆さん、軍拡推進、国民大収奪の臨調路線、ニセ「行革」推進を許さず、10・21国際反戦デーを大きく成功させようという世論の盛り上がりの中、とる9月29日、10・21全京大集会、実行委員会の結成が、21団体3人の結集によって開かれました。

まず基調報告では、29日の総理の所信表明演説に示されるように政府、財界が今国会に重大な決意をもって臨んでいふこと、昨年のダブル選挙以来とりわけ5月の日本首相選挙では、その方針のついた右傾化、軍拡路線の二選に臨調路線があること、その財政再建案は、国民の共同財産である財政の未来の姿とは、王「た」相入れをいふものであること、臨調路線というのはいかに幕僚の民主的権限を破壊し、大学の教育、研究体制をおしつぶすものであるかという点として臨調路線に抗するうえでの自治体民主化の重要性が、明らかにされました。

次いでこの報告をうけて討論に切りました。職員からは、今までの定員削減によって労働条件の悪化が著しく、施設の保守もままならないのに、なおまた10%もの削減が、こまわれようとしていふこと、院生からは、図書費でも削減になりかぎり院生授業料のわずかな増額も不可能なこと、学生からは、学部の統廃合の動きが深刻な波紋を投げかけていふこと、生協関係者からは、臨調路線は院内への民間企業への導入に道を開くものであること、等々の発言がなされました。

そして最後に、実行委員会アピール、集会スローガン、行動提言を掲げ、一致で閉会しました。

京大の全構成員の皆さん、臨調路線とは、憲法改定、軍国主義日本への道にはかたまりません。そしてまたそれは、激戦争の道が開かれ、現代にあつて

は、人類滅亡の道でもあるといつても過言ではないでしょう。今こそ大きな運動を巻き起こし、さきさき10月16日(金)の第二回実行委員会には今回以上の結集をかちとり、そして10・21集会を大きく成功させることを強く訴えるものです。

集会スローガン

- 一 大企業本位、国民大収奪、軍拡推進の臨調路線、ニセ「行革」反対
- 一 憲法改悪阻止、憲法の平和的民主的条項の完全実施を
- 一 日本への核兵器もろこみ糾弾、非核三原則の法制化と国際化を
- 一 日米核軍事同盟の強化反対、日米安保条約を廃棄し、非同盟、平和、中立の日本を
- 一 文部省の学部長選介入糾弾、学内官僚統制打破、民主的慣行を守れ
- 一 文教予算を拡充し、民主的学運連を
- 一 和道会等組三名の不当解雇、組合員糾弾
- 一 臨調路線を許さざり府民のための府政を

10・21全京大集会 実行委員会

世話人団体
京大職組、京院協、自連協、生協労組、知進会労組

連絡先 内76/5 職組BOX
内2576 京院協BOX

第二回実行委員会
10月16日(金)午後6時
於、理学院BP1棟

